

	<h2 style="color: green;">ジュンサイを残そう市民の会</h2> <h3 style="color: green;">内輪での自然観察会</h3> <p>作成日：2020/11/28</p>	
活動日時	2020年（令和2） 11月28日（土） 10:30～12:00	
天候	晴れ 時折吹く風に木の葉が舞う	
活動場所	管理地内から管理地外縁（小学校側～モミジ小路の園路～南側大池縁園路）	
参加者数	19名	
観察内容	<p>市川市自然博物館学芸員金子謙一氏を講師として、自然観察を実施した。管理地第6水槽内のシン fras コモらしきフラスコモの観察の後、園路を歩きながら観察した主な動植物は以下の通り。最後に市川市生活環境整備課管轄のイノカシラフラスコモ水槽の様子を観察していただき、管理地に戻り終了した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① クログネモチ（赤い実） ② ムクノキ（黒い実） ③ アカメガシワ・ケヤキ・イチョウ・トウカエデの落葉 ④ ハキダメギク・オオバコ・オシバ・イノコヅチ・ヘビイチゴなどの野草 ⑤ コナラの木に残っていたセミの抜け殻 ⑥ カシノナガキクイムシに侵されたコナラ ⑦ イロハモミジの紅葉（赤い色の生成の過程） ⑧ 十月ザクラとモミジ ⑨ 池のカモ達（ハシビロガモ/オナガガモ/マガモ/ヒドリガモ/キンクロハジロ）とカイツブリの観察 ⑩ センダンの実 ⑪ アリジゴクの巣 ⑫ サルスベリ ⑬ カメの日向ぼっこ など。 	
備考	金子講師から大型四角水槽15基の整備について、市川市ではここほど水生植物を観られるところはないのではないかと賛辞をいただいた。また、市管轄のイノカシラフラスコモ水槽2基のなかにイノカシラフラスコモを発見できなかったとのことは、残念なことであった。夏に井戸が止まってしまった影響があるのかもしれない。	
記録者	写真：禿・徳永 文：禿	
		<p>コロナ禍対策の一つとして、初めて小型のマイハンドマイク使用での説明でした。市管轄のイノカシラフラスコモ水槽を水中覗きを使い観察して下さる金子講師。</p>
		